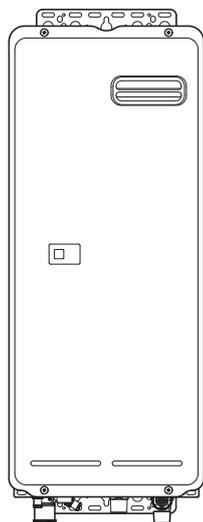


取扱説明書

暖房専用熱源機

家庭用 保証書付 BL認定品



もくじ

安全なご利用のために	ページ
お使いになる前に.....	1 ●
安全上のご注意（使用編）.....	2 ■
安全上のご注意（設置編）.....	6 ●
あんしん点検について.....	8 ■
はじめに	
各部のなまえとはたらき.....	9 ●
初めて使うとき.....	10 ■
暖房のしかた.....	11 ●
知っておいてください	
冬期の凍結による破損防止について.....	14 ■
日常の点検・お手入れのしかた.....	16 ●
長期間使用しない場合は.....	17 ■
故障かな？と思ったら.....	18 ●
主な仕様・能力表.....	20 ■
アフターサービスについて.....	21 ●
保証書.....	26 ■

ご愛用の皆さまへ

- このたびは暖房専用熱源機をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき正しくお使いください。
- この取扱説明書の26ページが保証書になっています。内容をよくご確認のうえ、大切に保管してください。
- リモコンの使いかたについては、リモコンに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。
- 取扱説明書はいつでも使用できるよう大切に保管し、使用方法が分からないときにお読みください。
- この製品は国内専用です。

お使いになる前に

機器の設置場所を確認する

1 機器の設置場所を確認する。

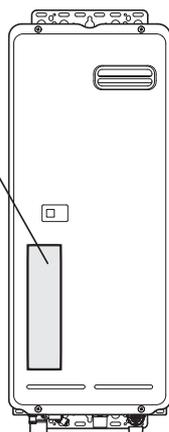
設置場所がわからないときは、機器の設置工事を行った施工店にご確認ください。

2 機器の品名を確認する。

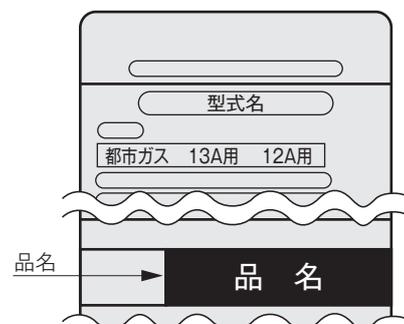
品名は機器の銘板に記載されています。

銘板の位置

銘板



品名の位置



品名を確認したら、以下の欄に記入してください。お問い合わせの際に必要です。

品名	
----	--

安全上のご注意 (必ずお守りください) (使用編)

- 製品を正しくお使いいただくためや、お客さまや他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
- 以下に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

上記に述べる軽傷・物的損害とはそれぞれ次のようなものをいいます。

軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などをさします。
物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

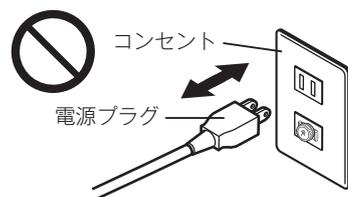
■絵表示には次のような意味があります。

 この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。	 火災注意
 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。	 火気禁止  触れないこと  分解禁止  ぬれ手禁止
 この絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。	 電源プラグをコンセントから抜く

 危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
---	--

ガス漏れに気づいたら（居室でガスのおいを感じたら）

- 絶対に火をつけない
- 電気器具のスイッチの入 / 切をしない
- 電源プラグの抜き差しをしない
- 周辺の電話を使用しない



ガス漏れに気づいたときは、東邦ガスの係員による処置が終るまで上記のことを行わないこと。炎や火花で引火して爆発事故のおそれがあります。

■すぐに使用を中止する

①すべてのガス栓とメーターのガス栓を閉める。



②窓や戸を開けガスを外へ出す。



③外に出て、もよりの東邦ガスに連絡する。



屋外で電話する

お使いになる前に ● ■ 安全上のご注意 (必ずお守りください) (使用編)

安全上のご注意 (使用編)



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

機器や排気口の周囲には



■機器や排気口を洗たく物などでおおわない

■紙や木材などの燃えやすい物を置かない

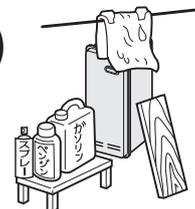
火災の原因になります。

■スプレー缶・ガソリン・ベンジンなどの引火性危険物を置いたり、使用したりしない

引火して火災のおそれがあります。

■スプレー缶・カセットこんろ用ボンベなどを置いたり、使用したりしない

熱でスプレー缶内の圧力が上がりスプレー缶が爆発するおそれがあります。



やけど防止のため



■パネルヒーターの表面はさわらない

やけどの危険性があります。特に小さなお子さまのいる家庭では注意が必要です。

■床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間座ったり寝そべったりしない。低温やけどを起こす心配があります。

特に次のような方が使用する場合は、周りの人が注意してあげることが必要です。

- ①乳幼児・お年寄り・病人など自分の意志で体を動かせない方
- ②疲労の激しいときやお酒や睡眠薬を飲まれた方
- ③皮膚や皮膚感覚の弱い方



お願い

雷が発生したとき

- 雷が発生しはじめたらすみやかに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜き、漏電ブレーカを「切」にしてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。また、このときぬれた手で電源プラグにさわらないでください。感電のおそれがあります。
- 雷が遠ざかったことを確かめてから、漏電ブレーカを「入」にして電源プラグがぬれていないことを確認してコンセントにしっかりと差し込み、時刻・温度などの再設定をしてください。



点火・消火の確認

- 使用時の点火、使用後の消火を確認してください。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

電源ケーブル・プラグについて



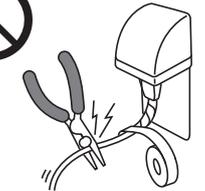
■ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

感電のおそれがあります。



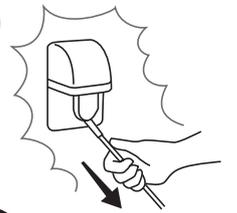
■雨が降り出している場合は電源プラグを抜かない

感電のおそれがあります。



■電源ケーブルを切断して延長はしない

電源ケーブルがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災などの原因になります。



■電源ケーブルを引っばって電源プラグを抜かない

電源ケーブルを引っばると破損して感電や火災の原因になります。



■電源プラグは根元まで完全に差し込む

差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使わないでください。



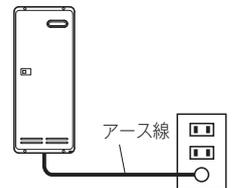
■電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く

電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



■アースされていることを確認する

この機器はアースが必要です。



ご使用について



■機器本体に無理な力を加えない

機器本体やガスの接続口などに乗らないでください。けがや機器の変形によるガス漏れ・不完全燃焼のおそれがあります。

■外付け装置による遠隔操作は行わない

スマートフォンやIT機器を使ってリモコンのスイッチを操作する外付け装置*は、安全性を確認できないので使用しないでください。

※リモコンのスイッチ付近に取り付け、インターネット通信等を介してスイッチを「入」「切」できる装置。

次ページもお読みください

安全なご利用のために

安全上のご注意 (使用編) (つづき)



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

異常時の処置



■異常時は使用を中止しガス栓を閉める

1.使用中に異常な臭気・異常音・異常な温度を感じた場合、機器が使用中で消火してしまった場合はただちに使用を中止してガス栓を閉めてください。

①暖房運転を止める。

②ガス栓を閉める。



2.異常を感じたときは、「故障かな?と思ったら」(18・19ページ)に従ってください。

3.上記の処置をしても直らない場合は使用を中止して、東邦ガスにご連絡ください。

■地震・火災などの緊急の場合は、ただちに使用を中止してガス栓・給水元栓を閉める



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

やけど防止のため



■使用中や使用直後は排気口やその周辺に絶対手を触れない

排気口やその周辺は高温になっています。絶対に手で触れないでください。



お子さまには



■お子さまだけで暖房を使わせたりしない

■機器の周囲や直下で遊ばせない
思わぬ事故の原因になります。

廃棄時の注意



■機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼する
お客さまご自身で処理する場合、乾電池を使用している機器は、必ず乾電池を取りはずしてから正規の処理を行ってください。

ご使用上の注意



■暖房や乾燥以外の用途には使用しない

思わぬ事故や故障の原因になります。

■排気口に指や棒を入れない

故障やけがの原因になります。

■機器のオーバーフロー口から排出される水は、飲用・調理用・飼育用などに使用しない

安全上のご注意 (設置編)

⚠ 危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

屋内設置禁止



■この機器は屋外式

絶対に屋内に設置して使用しないでください。不完全燃焼を起こし一酸化炭素中毒の原因となります。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

改造・分解禁止



■絶対に改造・分解は行わない

改造・分解は一酸化炭素中毒など思わぬ事故や故障の原因になります。また、火災の原因になります。

工事は資格必要



■この機器の設置・移動および付帯工事には専門の資格・技術が必要です。

工事は必ずお買い上げの販売店または施工店に依頼してください。

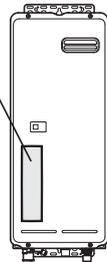
使用ガスおよび電源の確認



■使用する機器が使用するガスの種類（ガスグループ）および使用する電源（AC100V・50-60Hz共用）に適合していることを確認する

表示以外のガス種および電源を使用すると不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常点火やけどをしたり、機器が故障する場合がありますので使用しないでください。

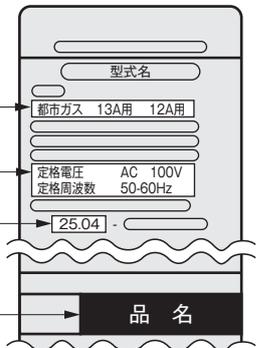
銘板



この機器はAC100V（50-60Hz）用です。
AC100V以外の電源電圧では使用できません。

※下図は銘板の一例です。

ガスの種類
(右は都市ガス
(13A・12A用の例))
電源
製造年月
(右は2025年
(4月生産の例))
品名



次ページもお読みください

安全にご利用のために

安全上のご注意 (設置編) (つづき)



警告

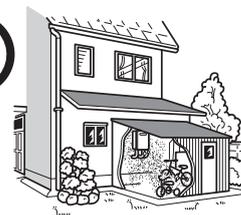
この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

設置場所



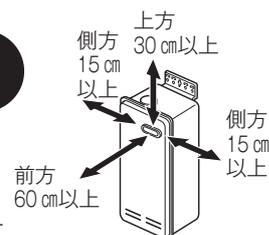
■屋外用の機器を増改築などによって屋内状態（自然換気のできない場所）にしない

機器（給・排気口）を波板で囲んだりシートなどで覆わないでください。また、増改築や家屋の修理・外壁塗装のために養生シートで覆われているときは、機器を使用しないでください。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



■離隔距離を確保する

機器周辺の物とは常に右図の離隔距離を確保してください。



右図の離隔距離は排気口からの距離です。

お願い

■増改築する場合

- 塀などを増設する場合は、空気の流れが停滞しないように考慮してください。燃焼不良の発生を防止するためです。また、機器の点検・修理のための空間を確保してください。機器の点検修理のための空間については、お買い上げの販売店またはもよりの東邦ガス営業所・サービスセンターにお問い合わせください。

■機器の設置状態の確認

- 機器の設置について、次の項目をチェックしてください。
 - ① 機器は傾いて設置されていませんか？
 - ② 冷・暖房機や換気扇の吹き出し口や吸い込み口付近は避けてありますか？
 - ③ 棚の下など落下物の危険はありませんか？
 - ④ メンテナンスができない場所に設置されていませんか？メンテナンスをお断りすることがあります。なお、高所作業に必要な足場や作業にかかる費用は、保証期間中であってもお客さまのご負担となります。
 - ⑤ 近隣の家が騒音（燃焼音・燃焼用送風機やポンプの回転音など）で迷惑にならない場所に設置してありますか？
 - ⑥ 排気口への積雪や、屋根から落ちた雪で排気口が閉塞されることはありませんか？以上の項目を満足していない場合には、お買い上げの販売店または施工店に連絡し、設置場所を変更してください。
- 増改築によって、燃焼排ガスが直接建物の外壁・窓・ガラス・網戸・アルミサッシ・車などや物置の塗装品などに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。
- 植物やペットなど、燃焼排ガスによって加熱されると困るものや悪影響を受けるものは排気口の周囲に置かないでください。
- 温泉水や地下水や井戸水は、水質によっては機器の配管内部に異物が付着し、故障することがあります。その場合は、保証期間内でも修理は有料となります。また、浴槽のお湯の水質を変える機器を使用しないでください。
- この機器は一般家庭用です。業務用として多頻度・長時間のご使用は、機器の寿命を著しく縮めることになりますのでおやめください。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。
- この機器は海拔1,000mまで使用できます。1,000mを超える地域で使用すると、点火不良などの不具合が発生することがあります。

あんしん点検について

1. 「あんしん点検（有償）」について

- ご利用いただいておりますガス温水機器は長期間ご使用いただくと、経年劣化によって安全上支障が生じ、お客さまに危害を及ぼすおそれがあります。
- 使用期間の目安である「設計上の標準使用期間」を超えてのご使用は、経年劣化による事故発生の危険度が高くなります。継続してご使用される場合は、「あんしん点検」をおすすめいたします。
- 「あんしん点検」は、お客さまの任意で受けていただく有償の点検です。点検結果は点検実施時点の状態をお知らせするものであり、継続的な性能維持や故障予防を保証するものではありません。

2. 点検時期

- 本製品は、設計上の標準使用期間を10年と算定しております。
- 機器ごとに「設計上の標準使用期間」を定め、終了時期の前後1年間を点検期間としておすすめします。
- なお、ご使用年数が長い場合は整備・修理のための部品をご用意できないことがあります。

3. 点検項目

- 機器のガス漏れ・水漏れ、作動確認、燃焼排ガス調査、外観調査など弊社で設定した点検基準で実施します。
- 点検は、弊社社員または「東邦ガスくらしショップ」が行います。

4. 点検料金

- 点検費用はお客さまにご負担いただくこととなります。
- なお、点検の結果、整備・修理が必要となった場合は、別途、整備・修理費用が発生します。
- 詳しくは、弊社ホームページをご覧ください。 <http://www.tohogas.co.jp>

5. お問い合わせ先

- 「あんしん点検」のお申し込み・お問い合わせは、下記の連絡先へお願いします。

東邦ガス株式会社

長期使用製品点検センター

Tel フリーダイヤル 0120 - 872 - 909

【受付時間】 平日 9:00 ~ 17:00

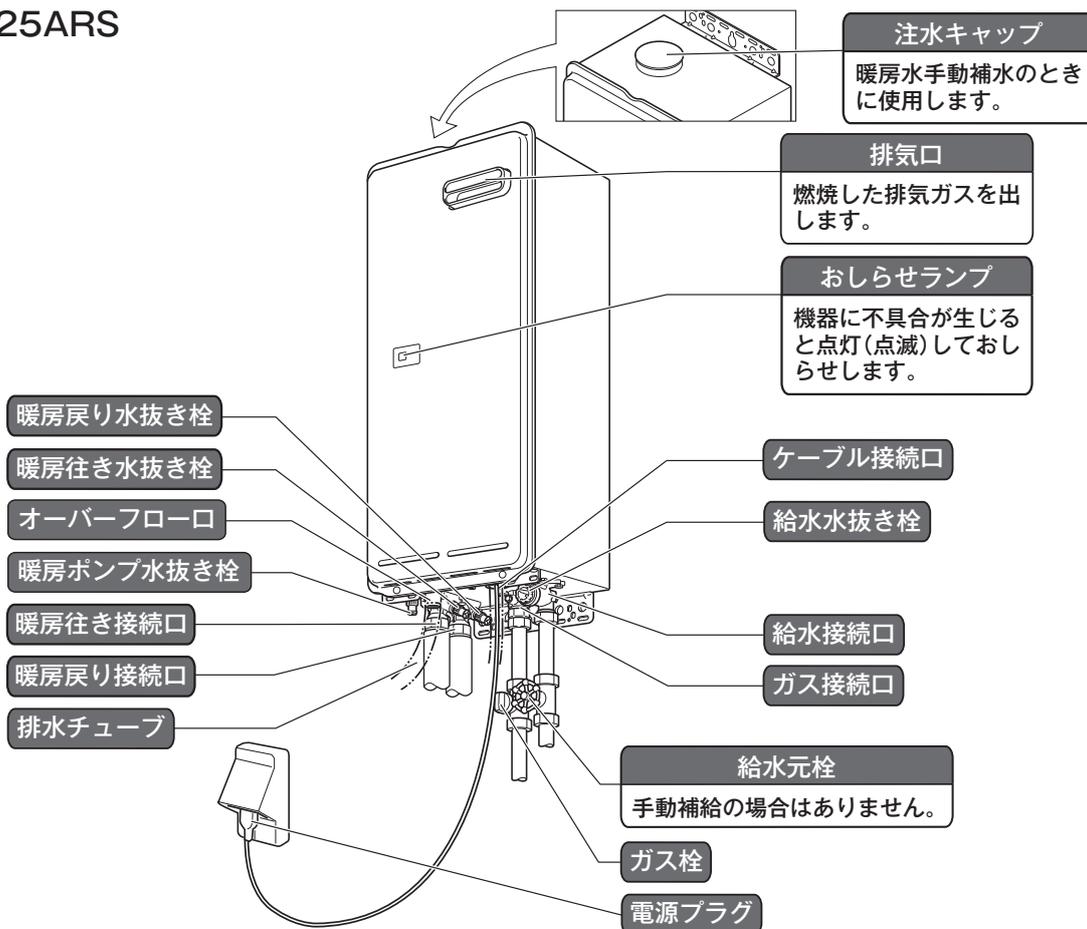
※土・日・祝日等の弊社指定休日を除く

6. 設計上の標準使用期間とは

- 「設計上の標準使用期間」とは、標準的な使用条件のもとで、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品ごとに設定されるものです。無償保証期間とは異なります。
- 上記の標準使用条件を超える使用頻度・使用環境・設置場所または、業務用等本来の目的以外の方法で使用された場合には、「設計上の標準使用期間」よりも早期に安全上支障を生じるおそれが高まります。

各部のなまえとはたらき

■ HS-0725ARS



初めて使うとき

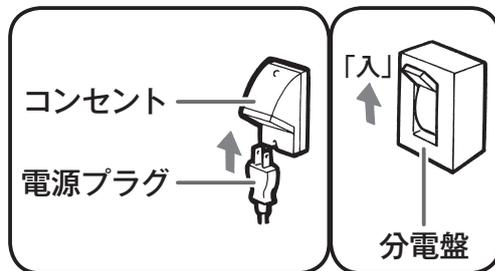
機器が使えるように準備します。

① 電源プラグをコンセントに差し込み、分電盤のスイッチを「入」にする

コンセントは機器付近の壁などにあります。

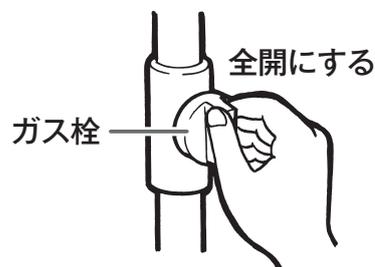


ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。
感電のおそれがあります。



② ガス栓を全開にする

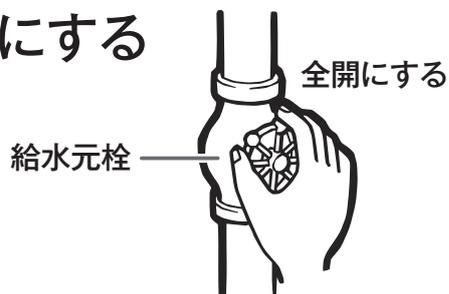
ガス栓は機器の下部にあります。



③ 自動補水の場合は給水元栓を全開にする

給水元栓は機器の下部にあります。

・手動補水の場合は、12・13ページの“暖房水の手動補給のしかた”に従って補水をしてください。



各部のなまえとはたらき ● ■ 初めて使うとき

暖房のしかた

放熱器や床暖房リモコンで操作します。

⚠警告

- パネルヒータの表面をさわらないでください。やけどの危険性があります。特に小さなお子さまのいる家庭では注意が必要です。
- 床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間、座ったり寝そべったりしないでください。低温やけどを起こす心配があります。特に次のような方が使用する場合は、周りの人が注意してあげることが必要です。
 - ・ 乳幼児・お年寄り・病人など自分の意志で体を動かせない方
 - ・ 疲労の激しいときやお酒や睡眠薬を飲まれた方
 - ・ 皮膚や皮膚感覚の弱い方

⚠注意

- 床暖房の上に電気カーペットを敷かないでください。床材の割れ・そり・隙間の原因となります。
- カーペット式床暖房の上に鋭利なものを落としたり、刺したりしないでください。温水パイプが破損します。

1 暖房する部屋の浴室暖房乾燥機などの放熱器や床暖房リモコンの運転スイッチを「入」にし、お好みの温度に調整してください（放熱器の取扱説明書もご覧ください）。

- 点火しないときは、運転スイッチをいったん「切」にしてから再度「入」にしてください。

2 使い終わったら、放熱器や床暖房リモコンの運転スイッチを切ってください。

停電・断水・ガスの供給が停止したときは…

停電時 ……運転は停止します。再通電すると運転を再開（放熱器により異なります）しますが、停電中は念のため放熱器の運転スイッチを「切」にしてください。

断水時 ……そのまま使用できますが、暖房水が不足していると安全装置が作動し暖房運転が停止します。暖房水自動補給で断水中に暖房運転が停止した場合は、再通水時に電源プラグを抜き差ししてください。
暖房水手動補給の場合に、暖房水の不足により暖房運転が停止した場合は、12・13ページの“暖房水の手動補給のしかた”に従って補給をしてください（電源プラグの抜き差しは必要ありません）。



ガスの供給が停止したとき ……運転は停止し、ガスの供給が再開されても運転しません。いったん放熱器の運転スイッチを「切」にし、ガスの供給が再開された後、放熱器の運転スイッチを「入」にしてください。

お願い

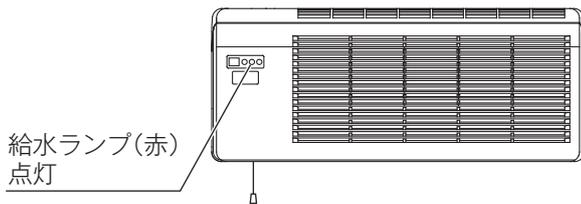
暖房ができなくなったときは…

機器に給水配管が接続されていれば、暖房水は自動で補給されますが、給水配管をしていない場合は、暖房水を手動補給する必要があります。

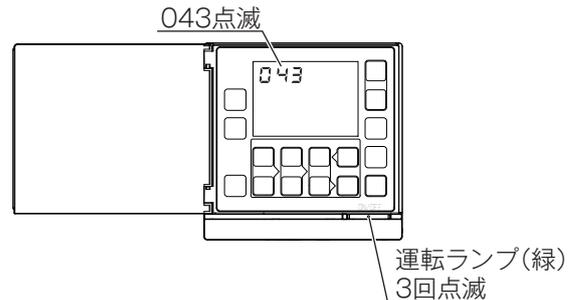
浴室暖房乾燥機の運転スイッチまたは床暖房リモコンの暖房運転スイッチを入れても運転しない場合、または途中で運転が停止した場合は、暖房水が減っていますので、下記の“暖房水の手動補給のしかた”に従って暖房水の手動補給をしてください（暖房水が減ると、熱源機本体でもおしらせランプが点灯してお知らせします）。

浴室暖房乾燥機や床暖房リモコンによっては、暖房水が減ったことをお知らせする表示機能*を持つものもあります（下図参照）。

例：浴室暖房乾燥機の場合



床暖房リモコンの場合



* 放熱器の中には表示機能が異なったり、暖房水の濁水表示機能がない場合があります。詳しくは各端末の取扱説明書をお読みください。

暖房水の手動補給のしかた

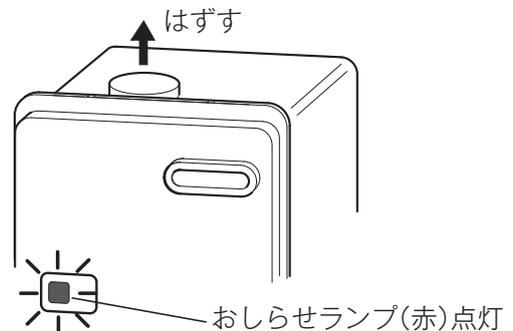
⚠注意

運転直後はタンク（暖房水）が高温になっていますので、やけど予防のため機器が冷えてから行ってください。

1 放熱器の運転スイッチ・床暖房リモコンの暖房スイッチを切る

2 注水キャップをはずす

暖房水が高温になっていると蒸気が吹き出すことがありますので、冷えてからはずしてください。



次ページもお読みください

暖房のしかた(つづき)

3 水を入れる

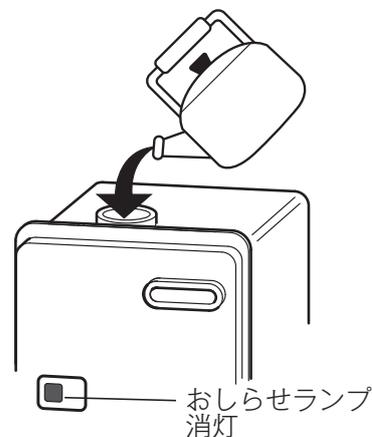
オーバーフロー口から水が出るまで、やかんなどで水を補給してください。
おしらせランプが消灯します。

必ず水道水を使用してください。
温泉水や地下水や井戸水を使用すると故障の原因になります。

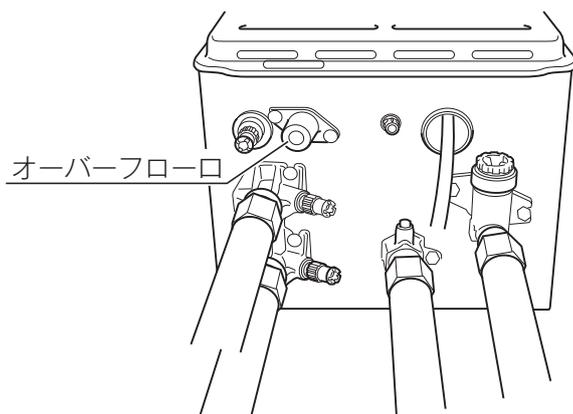
目安の注入量

HS-0725ARS

2リットル



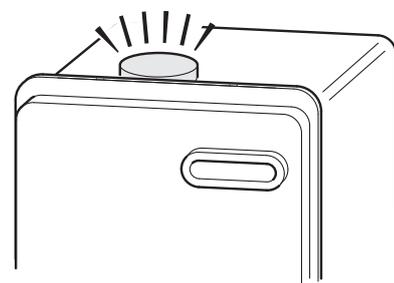
HS-0725ARS



4 注水キャップを取り付ける

手ごたえを感じるまでしっかりはめ込む。

- 暖房水の補給は4か月に1回程度ですが、乾燥・暖房の使用時間により異なります。
- 水の減りかたが早かったり急に早くなった場合は、水漏れしている可能性があります。
お買い上げの販売店または東邦ガス修理受付ダイヤルへご連絡ください。



冬期の凍結による破損防止について

暖かい地域でお使いのお客さまも必ずお読みください。

⚠ 注意

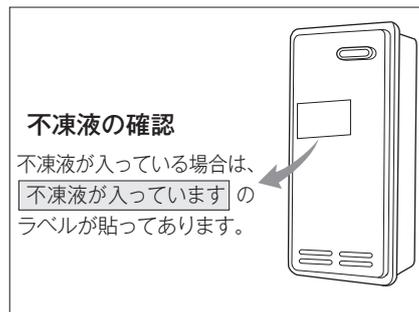
- 冬期は暖かい地方でも、給水・給湯配管の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を防止するために、次のような処置をお取りください。
- 不凍液を使用せず長期不在などで電源を切る場合は《水抜き》を行ってください。
- 不凍液を入れる方法もあります。ただし電源プラグは抜かないでください。
- 給水配管や給水元栓の凍結予防は保温材を巻いたり、必要に応じて電気ヒータを巻くなどして別途対策してください。

- この機器は、外気温が下がると自動的に燃焼運転を行って、凍結を予防します。
- 電源プラグがコンセントに差し込んであることを確認してください。
- ガス栓・給水元栓（暖房水自動補給の場合）が全開になっていることを確認してください。
- 「※」スノーマークがある放熱器は、運転つまみをスノーマーク（または「凍結予防」）に合わせてください。
※放熱器（浴室暖房乾燥機など）は、機種によって凍結予防運転の方法が異なるため、それぞれの説明書をお読みください。

《水抜き》の方法（不凍液が入っている場合は不要です）

- 不凍液が入っていない場合に、長期間にわたって機器を使用せず電源プラグを抜く（分電盤の専用スイッチを『切』にする）ときは、この《水抜き》を行ってください。また、長期間にわたって機器を使用しないときも、必ずこの《水抜き》を行ってください。
※暖房使用直後は機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷めてから行ってください。

※暖房側の《水抜き》は不凍液が入っていない場合に、長期間にわたって機器を使用せず電源プラグを抜く（分電盤の専用スイッチを『切』にする）ときのみ行ってください。
不凍液注入の有無はフロントカバーに貼ってあるラベルでわかります。



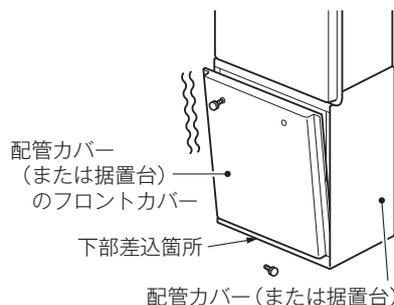
- ①ガス栓 **3** が閉めてあることを確認してください。
- ②給水元栓 **2** が閉めてあることを確認してください（暖房水自動補給の場合）。
- ③水抜き栓 **1**・**6**・**8**・**11**をすべて開けてください。
※おしらせランプが点滅しますが異常ではありません。
- ④すべての水抜きが完了したら、電源プラグを抜いてください（分電盤の専用スイッチを「切」にしてください）。

注）必要に応じて放熱器と暖房配管の水抜きも行ってください。また、配管カバーや据置台を使用している場合、すべての水抜き作業が終了したら、配管カバーや据置台のフロントカバーを元どおり確実に固定してください。

お願い

配管カバー・据置台のフロントカバーについて

- 配管カバーや据置台を使用している場合、そのフロントカバーが確実に固定されていることを確認してください。また、定期的に点検してください。
化粧ねじがゆるんだりはずれていたり、下部差込箇所がはずれているとフロントカバーがはずれて思わぬ事故の原因となります。

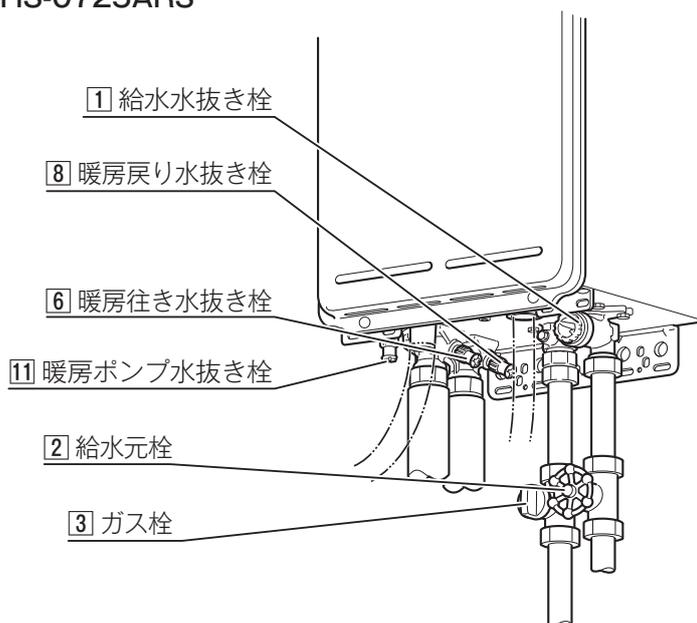


次ページもお読みください

知っておいてください 14

冬期の凍結による破損防止について (つづき)

HS-0725ARS



《水抜き》をした機器を、次に使うときは…

- ①すべての水抜き栓を閉めてください。
- ②10ページの「初めて使うとき」に従って熱源機本体の運転準備をしてください。
 - ※**暖房水自動補給の場合**は、暖房運転を行うと暖房水は自動的に補給されます。自動補給は約2分で止まりますので、放熱機が機器本体より高い位置にある場合や暖房配管の容積が大きい場合は、1回の補給では暖房運転ができないことがあります。この場合は電源プラグを抜き差ししてから再度暖房運転を行ってください。暖房ができるようになるまでこれを繰り返してください。
 - ※**暖房水手動補給の場合**は12・13ページの“暖房水の手動補給のしかた”に従って補給をしてください。

お願い

- 水抜き栓は工具で締め付けしないでください。破損のおそれがあります。

凍結したときの処置

- 万一凍結した場合は使用しないでください。
凍結したままお使いになると、機器本体や配管が破損することがあります。
- 凍結が解けたあと、水漏れがないか確かめてから使用してください。
- 機器本体や配管が破損すると、高額な修理費用がかかる場合があります。(有料)

日常の点検・お手入れのしかた

日常の点検・お手入れの際は、次のことにご注意ください。

- 安全にお使いいただくために、こまめに日常の点検・お手入れを行ってください。
- お手入れは、必ず①ガス栓を閉め②電源プラグを抜き③機器が冷めてから行ってください。
- フロントカバーなどは決してはずさないでください。(据置台・配管カバーのフロントカバーは除く)

■日常の点検…次のことにご注意ください。

- 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
- 機器の外観に異常は見られませんか？また、各部品とも正しくセットされていますか？
- 沿岸部で潮風に当たりやすい地域でご使用の場合は、潮風に含まれる塩分によって機器本体や配管接続部にさびが発生しやすくなります。外観上のさびがひどい場合は、機器内部の部品への影響も考えられますので、点検(有料)をおすすめします。
- 機器および配管から水漏れはありませんか？
- 排気口のそばに燃えやすいものはありますか？
- 機器本体には安全に関する注意ラベルが貼ってあります。汚れたり、読めなくなったときはやわらかい布などで汚れをふき取ってください。また、お手入れの際にははがれないようご注意ください。もしはがれたり読めなくなった場合は、新しいラベルに貼り替えてください。ラベルについてはもよりの東邦ガス営業所のサービスセンターにお問い合わせください。
- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、燃焼部などは年1回程度の定期整備をおすすめします。

※整備の内容や定期整備を受ける先が不明の場合、整備費用などについては東邦ガスにお問い合わせください。

●不凍液の点検と交換(有料)

不凍液が入っているかは、機器のフロントカバーに貼ってあるラベルで確認できます。不凍液を交換せずに使い続けると、防錆や凍結予防効果が低下して機器や放熱器が破損するおそれがありますので、下記のことを実施してください。

- 年に1回は不凍液の濃度や汚れなどの点検をお買い上げの販売店または東邦ガス修理受付ダイヤルへご連絡ください。
- 不凍液の性能が低下していた場合は交換が必要で、交換の目安は約3年に1回です。
※不凍液の性能が低下したまま使い続けると、凍結・破損・腐食の原因になり、これに伴う修理費用は保証期間内でも有料となります。

■お手入れ方法は

- 機器**の表面が汚れたときは、台所用中性洗剤(食器・野菜洗い用)を含ませたやわらかい布で汚れをふき取った後、水を含んだ布で軽くふき取ってください。台所用中性洗剤(食器・野菜洗い用)以外の洗剤やみがき粉・シンナー・ベンジン・エタノールやたわしなどの硬いものを使用しないでください。表面の光沢や印刷・文字などが消えたり傷がつきます。
- 給水水抜き栓先端の**ストレーナ**にごみなどが付いていると暖房水自動補給の場合に自動的に補給できなくなります。こんなときは給水元栓を閉めてから給水水抜き栓をはずして、ストレーナに付いているごみを取り除いてください。特に近くで水道配管工事などがあったときはご注意ください。

※必ず給水元栓を閉めてから行ってください。

- 機器の給気口がほこりやごみで詰まったまま使用すると、不完全燃焼などの原因になります。給気口のほこりやごみを十分に取り除いてご使用ください。



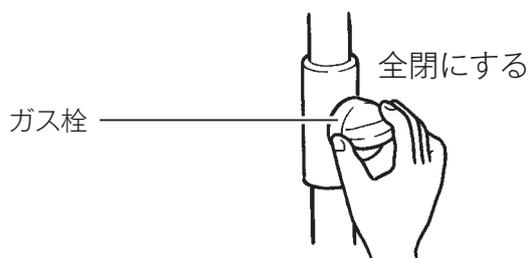
※給水水抜き栓の位置は前ページの図をご覧ください。

長期間使用しない場合は

長期間使用しない場合は次のことを行ってください。

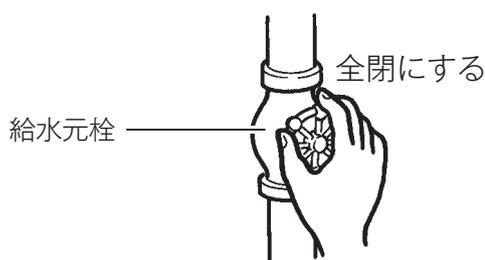
1 ガス栓を閉める

ガス栓は機器の下部にあります。



2 暖房水自動補給の場合 は給水元栓を閉める

給水元栓は機器の下部にあります。



3 機器の水抜きをする (14・15 ページ参照)

※不凍液が入っている場合は不要です。

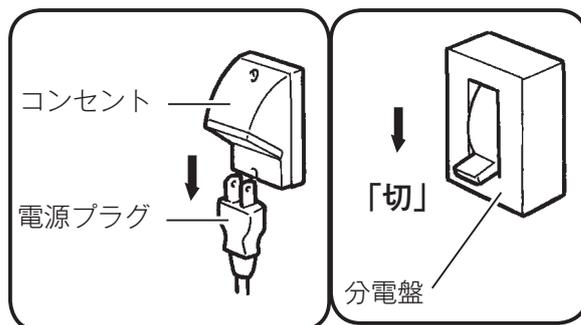


4 電源プラグをコンセントから抜く

コンセントは機器付近の壁などにあります。
分電盤の専用スイッチを『切』にしてください。

警告

●ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。
感電のおそれがあります。



故障かな？と思ったら

故障かな？と思ってもよく調べてみると故障ではない場合もあります。修理を依頼する前に、もう一度次の点をお調べください。

■次のことを調べてください

こんなとき	ココをチェック
おしらせランプが点滅または点灯する	暖房水が減っていませんか。(13 ページ参照)
	放熱器や床暖房リモコンの運転スイッチを「切」にし、約 3 秒後、もう一度「入」にしてください。それでも点滅するときは故障ですので、お買い上げの販売店または東邦ガス修理受付ダイヤルへご連絡ください。
暖房運転できない	ガス栓が全開になっていますか。
	給水元栓が全開になっていますか。(自動補給の場合)
	断水していませんか。(自動補給の場合)
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。
暖房運転中に消火した	停電していませんか。
	ガス栓が全開になっていますか。
	ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断していませんか？ LP ガスの場合、ガスがなくなっていないですか？

■こんなときは故障ではありません

こんなとき	理由
オーバーフロー口から水またはお湯が出る	断水の後や機器の水抜きをした後に再度ご使用の場合、少しの間お湯が出ることがありますが異常ではありません。ただし、連続して出続ける場合は、機器の故障が考えられますので、お買い上げの販売店または東邦ガス修理受付ダイヤルへご連絡ください。
排気口から白い湯気が出る	冬に吐く息が白く見えるように、燃烧排ガス中の水蒸気が白い湯気に見えますが、故障ではありません。また、暖房回路の凍結予防時には白い湯気が出ます。
排気口が黒く変色している	排気部の部品の材料であるステンレスの性質によるもので、異常ではありません。変色しても耐久性に影響はありません。
冬期など寒いとき暖房ポンプが自動的に動く、または燃焼する	凍結による破損防止のため、凍結予防運転を行います。
運転終了後もしばらくポンプが回る	運転終了後、かくはんのためポンプがしばらく回ります。
ときどき(1か月に一度)機器を使用していないのにポンプの回転音(ウーン)がする	暖房回路の空気抜きを行うため、約1か月に一回暖房ポンプが自動的に回転することがあります。異常ではありません。

長期間使用しない場合は
●故障かな？と思ったら

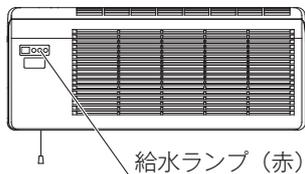
次ページもお読みください

知っておいてください 18

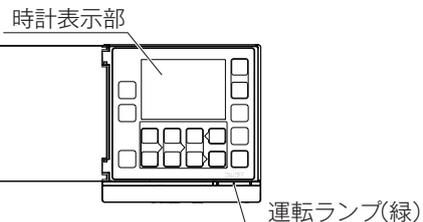
故障かな？と思ったら (つづき)

- 給水ランプ付浴室暖房乾燥機の場合は給水ランプ (赤) が点滅または点灯します。
- 故障表示機能付床暖房リモコンの場合は、時計表示部に以下の表示が点滅します。
ただし、機種によっては出ないものもあります。

例：浴室暖房乾燥機の場合



例：床暖房リモコンの場合



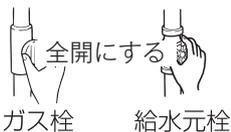
浴室乾燥 (参考)	床暖房リモコン (参考)		機器本体	故障の内容
給水ランプ (赤)	運転ランプ	時計表示部	おしらせランプ (赤)	
点灯	点滅	043	点 灯	暖房漏水検知
点滅	点滅	113	点 滅	暖房点火不良
点滅	点滅	123	点 滅	暖房途中失火
			5回点滅	過熱防止装置、温度ヒューズ作動
点滅	点滅	163	6回点滅	部分凍結異常
点滅	点滅	173	1回点滅	暖房水微小漏れ
			4回点滅	低温感知サーミスタ異常
点滅	点滅	313	4回点滅	暖房高温サーミスタ異常
点滅	点滅	433	3回点滅	水位電極理論異常
点滅	点滅	523	2回点滅	ガス比例弁異常
点灯	点滅	543	2回点滅	暖房補給水異常
点滅	点滅	613	1回点滅	暖房燃烧ファン異常
点滅	点滅	643	5回点滅	暖房ポンプ異常
			3回点滅	電装ユニット異常
点滅	点滅	723	2回点滅	暖房擬似炎検知
点滅	点滅	903	4回点滅	ファン初期チェック
点滅	点滅	993	5回点滅	暖房排気閉塞
	点滅		6回点滅	端末エラー
			6回点滅	暖房寿命予告運転
			6回点滅	ガス比例弁回路、 低温感知サーミスタ回路異常

端末側に上記以外の故障表示が出た場合は各端末の取扱説明書をお読みください。

また、端末によっては表示機能が異なる場合がありますので、各端末の取扱説明書で確認してください。

- 故障表示が出た場合は次の操作をしてください。

1、ガス栓と給水元栓が十分に開けてあるか確認します。



機器の下部

2、端末機の運転 (暖房) スイッチを「切」にして、再び「入」にします。



3、再び使用してみてください。

- 上記の操作をしても症状が変わらないときは、お買い上げの販売店または東邦ガス修理受付ダイヤルに修理を依頼してください。その際は、表示されている故障表示もお知らせください。

主な仕様・能力表

品名	HS-0725ARS			
型式名	RH-62W			
設置方式	屋外壁掛設置			
外形寸法(mm)	幅 250 × 奥行 200 × 高さ 610			
質量(kg)	12			
点火方式	連続放電式 (ダイレクト点火)			
接続	ガス	15A (R1/2)		
	給水	15A (R1/2)		
続	暖房 (行き・戻り)	CCH ジョイント用継手		
電	電源	AC100V		
気 関 係	消費電力 W (50-60Hz)	待機時	2.0	
		最大時	75	
	凍結予防ヒータ	10		
係	電源ケーブル	VCT (2芯) 1.8m		
安 全 装 置	立消え安全装置 過熱防止装置 凍結予防装置	空だき安全装置 過電流安全装置 停電安全装置	空だき防止装置 ファン回転検出装置 誘導雷保護装置	沸騰防止装置 漏電安全装置 暖房ポンプ回転検出装置

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

●ガス消費量

使用ガス	ガス消費量: kW	
使用ガスグループ	() 内は kcal/h	
都市ガス用	13A	8.63 (7,400)
	12A	8.04 (6,900)

故障かな?と思ったら ● ■ 主な仕様・能力表

アフターサービスについて

■修理を依頼される前に

- 18・19ページの「故障かな？と思ったら」の項を見てもう一度ご確認ください。
確認のうえそれでも不具合のある場合、あるいはご不明の点がある場合は、ご自分で修理なさらないで、必ずガス栓、給水元栓を閉め、電源プラグを抜いて（分電盤の専用スイッチを「切」にして）から、お買い上げの販売店または東邦ガス修理受付ダイヤルにご連絡ください。
- 修理をお申しつけの際は、次のことをご知らせください。
 - ①製品名（暖房専用熱源機）・ガスの種類（銘板表示のもの…6ページ参照）
 - ②品名（銘板表示のもの…6ページ参照）
 - ③故障または異常の内容（故障表示の数字など…19ページ参照）
 - ④ご住所・お名前・電話番号・道順（付近の目印など）
 - ⑤訪問ご希望日

■転居または機器を移設される場合

- ガスには都市ガスとLPガスの区分があります。
- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、転居先のもよりのガス事業者にご相談ください。
ただし、ガスの種類によっては改造・調整できない場合があります。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事や調整は専門の資格・技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店または東邦ガスお客さまセンターにご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては運転音や振動が大きく伝わらないよう場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居・移設にともなう調整や改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。

■保証について

- 本書の26ページが保証書になっています。
- 必ず「販売店名・購入日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 当社は保証書に記載してあるように、機器の販売後、機器に故障がある場合、一定期間の一定条件のもとに、無料修理に必ず応ずることを約束いたします。（詳細は保証書をご覧ください）
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。
- 保証書を紛失されますと保証期間内であっても修理費をいただく場合がありますので大切に保管してください。
- 凍結による故障の場合は保証期間内であっても有料となりますのでご注意ください。
- 自然災害（虫や小動物・雑草などの侵入など）による故障は、保証期間内でも有償修理となりますのでご承知おきください。
- BL認定品は「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付」です。
- 一般財団法人ベターリビングお客さま相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

■補修用性能部品の保有期間について

- この機器の補修用性能部品の保有期間は、製品本体の製造打切後10年です。BL認定品には機器の前面に右のうちのいずれかの表示があります。
- 性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。



優良住宅部品



優良住宅部品

■アフターサービスなどの連絡先

- 修理の場合は、以下の「東邦ガス修理受付ダイヤル」にご連絡ください。

ガス機器修理のお申し込みは

東邦ガス 修理受付ダイヤル



0570-070456

※IP電話をご利用の方は、お近くの東邦ガスへおかけください。

電話受付時間

24時間 365日、
修理の訪問予約を承ります

- 修理以外の場合は、お買い上げの販売店または東邦ガスお客さまセンターにご連絡ください。
裏表紙の「お問い合わせ先一覧」を参照してください。

■お客さまの個人情報の取り扱いについて

- 当社はお客さまよりお知らせいただいたお客さまのお名前・ご住所・電話番号などの個人情報を、サービス活動および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- 当社は、機器の修理や点検業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供はいたしません。

修理記録

年 月 日	修 理 内 容	サービス員印

MEMO

MEMO

お問い合わせ先一覧

●ガス機器修理のご依頼

<インターネットでのお申込み>

東邦ガス ガス機器修理

検索

※月曜日から土曜日の、19時までの訪問予約に限ります。
修理のお申込み、訪問に関する詳細は当社ホームページをご覧ください。

<お電話でのお申込み> 24時間365日訪問予約を承ります。



オナオシコール
0570-070456

※IP電話・海外からご利用のお客さまは052-889-2828へおかけください。
※東邦ガスの都市ガスをお使いいただいているお客さまの家庭用ガス機器について、19時までにご連絡をいただければ、当日21時までのご訪問も可能です。

●その他のお問い合わせ

<東邦ガスお客さまセンター>



0570-783987

※音声案内に沿ってご用件の番号をお選びください。ご用件ごとに担当窓口で承ります。
※IP電話・海外からご利用のお客さまは052-889-2828へおかけください。

●ガスくさいとき

万一のガス漏れに備えて、24時間昼夜を問わず、緊急の対応がとれる体制をとっています。
お部屋に限らず、屋外や共用部などでガスくさい場合もご連絡ください。

○東邦ガスネットワーク株式会社

お住まいの地域	連絡先
愛知県	052-872-9238
岐阜県	058-272-0088
三重県	059-224-0225
FAX	052-872-8297

※耳や言葉の不自由なお客さまはFAXをご利用ください。
※ご連絡の際は、お名前・ご住所・お電話番号・ガスくさい状況をお知らせください。

※電話番号については2022年4月現在のものです。
ご通知なしで変更する場合がありますので、ご了承ください。

東邦ガス株式会社

名古屋市熱田区桜田町19番18号 〒456-8511



■製造者 リンナイ株式会社

名古屋市中川区福住町2番26号 〒454-0802
TEL 052(361)8211(代)



060 00012 63687 1

HS-0725ARS
H245-0901(00)

